

7月24日からの大雨に関する対応（第3報）

平成21年7月28日

11:00 現在

国土地理院

これまでの国土地理院の対応は以下のとおりである。

1. 大雨の状況

九州北部地方から山陰、北陸地方を通過して東北地方にのびる梅雨前線に向かって非常に湿った空気が流れ込み、前線の活動が活発化した。西日本では九州北部地方を中心に局地的に非常に激しい雨が降り、24日0時から26日16時までの雨量は福岡県太宰府で609.0ミリ、福岡県飯塚で557.5ミリ、佐賀県佐賀市権現山で458.5ミリなど所により600ミリを超える大雨となった。

2. 体制等

7月21日（火） 17時00分 注意体制（21日の大雨より継続中）

3. 主な活動状況

1) 会議等への出席

7月27日 7月24日からの大雨に係る政府調査団（団長：防災担当大臣）に九州地方測量部長が参加

7月28日 11時00分 関係省庁連各会議（第1回）に関東地方測量部長が出席

2) 国土地理院による情報提供

- ・官邸、内閣府、国土交通本省に広域災害対策図（電子データ）を提供（7月25日）
- ・災害概況図を作成し、HPで公開